

各 位

株式会社ヤマダホールディングス

ヤマダホールディングス サステナビリティ推進

東京都「足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」に賛同
“2050年 CO₂ 実質ゼロへ！” 行動変容の啓発に協力
同区内のヤマダデンキ店頭パネルを掲示※

株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役会長 兼 社長 CEO：山田 昇、以下、ヤマダホールディングス）は、東京都足立区の「足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」に賛同、また、同区役所からの要請を受け、株式会社ヤマダデンキ（本社：群馬県高崎市、代表取締役社長：上野 善紀、以下、ヤマダデンキ）が展開する同区内の「テックランド足立店※1」「アウトレット足立店※2」の店頭において、「CO₂ゼロに向けた私たちの行動」パネル等の掲示に協力しました。

※ 掲示期間 ※1 テックランド足立店：2022年6月14日（火）～2022年6月19日（日）

※2 アウトレット足立店：2022年6月21日（火）～2022年6月26日（日）



▲アウトレット足立店店頭での掲示

東京都足立区議会は2021年3月23日に、2050年までにCO₂排出実質ゼロを目指すことを全会一致で議決し、区と区議会が共同で「足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」を宣言しています。

これまで、足立区内の小売店に要請して店頭等にパネルを展示していましたが、今回はその枠を広げ、同区内の家電量販店等にも掲示をすることで同区民への認知拡大を図っています。

ヤマダホールディングスはこの趣旨に賛同、また、CO₂削減に向けて、私たち個々の行動変容が大切であるとの理解をより深めるきっかけづくりに貢献したいという思いから、足立区役所からの要請に協力させていただくこととなりました。

「足立区 2050年 CO2 実質ゼロへ！」

足立区 2050年 CO2 実質ゼロへ！

足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言

2021年3月23日

足立区議会議員の藤田和也氏と区長つとむ氏

足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言

2021年3月23日
足立区議会が全会一致で議決し、区と区議会が共同で宣言しました。足立区は2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指します。

CO₂排出量 CO₂吸収量 実質ゼロへ、-7
CO₂の削減量と吸収量のバランスをとり、大気へのCO₂の排出をゼロにするこ。

CO₂ゼロに向けた 私たちの行動 1

1 これまでの省エネやリデュースを続けよう

多くの区民・事業者のみなさんの行動により、この10年間で、区内のエネルギー使用量は約22%、ごみ量は約8%減少しました。普段の生活をもう一度見直し、さらなる節電や節水、ごみ減量等の行動をお願いします。

ちょっと気をつけるだけで、これだけCO₂を削減！

☑ ガスコンロの炎を鍋底からはみ出さないようにする

-5.2kg

※1世帯あたりの年間のCO₂削減量
さらに、圧力鍋を使うと、時間も短縮できて省エネに。

CO₂ゼロに向けた 私たちの行動 2

2 省エネ型の設備や機器に変えよう

技術革新により、さまざまな設備や機器の省エネ性能が向上しています。買い替えのときには、省エネ型の設備や機器を選びましょう。

省エネ型の機器にすると、これだけCO₂を削減！

☑ 10年前の冷蔵庫を省エネ性能の高いものに買い替える

-126kg

※1世帯あたりの年間のCO₂削減量
さらに、冷蔵庫にもものを詰め込まないとCO₂削減量21.4kg/年。

CO₂ゼロに向けた 私たちの行動 3

3 移動の方法を考えよう

足立区は自動車からのCO₂排出量が23区で最多です。できるだけ自転車や公共交通を利用しましょう。また運転の際は、エコドライブ[※]で！

※ゆっくりとまっすぐの走りや出だしなど、急加速や急ブレーキを避ける運転

移動手段を変えるだけで、これだけCO₂を削減！

☑ 旅行をするときは公共交通を利用する

-85kg

※足立区から近郊都市の長野県山ノ内町の湯田中温泉へ車を借りずに公共交通を利用した場合（往復）。

CO₂ゼロに向けた 私たちの行動 4

4 CO₂を出さないエネルギーを使おう

太陽光や風力などの再生可能エネルギーに変えるとCO₂を大きく減らすことができます。太陽光発電の設置には、区の補助金制度をご活用ください！

設備の設置や契約見直しで、これだけCO₂を削減！

☑ 太陽光発電を設置しよう ☑ 電力会社や契約メニューを選ぼう

-1.8トン

-1.3トン

太陽光発電は、発電時にCO₂がゼロ！4kwの太陽光パネルを設置すると年間1.8トンCO₂を削減！

多くの電力会社が様々なプランを提供中！CO₂ゼロのプランにスイッチただけで、年間1.3トンのCO₂を削減！

CO₂ゼロに向けた 私たちの行動 5

5 森林の整備・保全でCO₂を吸収

日本は国土面積の約7割が森林です。木は光合成により大気中のCO₂を吸収します。都市部の私たちも、森林の大切さを理解し、森林保全活動に参加するなど、森づくりを応援しましょう。

いつもの買い物で森づくりを応援。

☑ FSC認証マークのついた製品を選ぶ

FSC認証マークは、適正に伐採・加工・流通された木材・紙類であることを証明するもの。このマークがついた製品を選ぶことで、森づくりを応援することができます。

FSC認証マークのついた製品を選ぶ

「すっきり冷蔵庫収納術」

reduce the foodloss

食品ロスが30%削減できる

すっきり冷蔵庫収納術

ほんのちょっとした行動を変えるだけで、それだけで食品ロスの削減が実現できます。そして同時にCO₂の削減にもつながります。今日から始めてみませんか？あなたができる3つの収納術を紹介しましょう。

日本全体で年間
家庭から出る食品ロスは276万トン！
その量なんと東京ドーム約2.2個分！
その多くは冷蔵庫から出ています！

あなたもこんな「もったいない」やっていませんか？

- 冷蔵庫の奥に食品が隠れてしまっている
- 気が付いたら食品が腐ってしまっている
- 野菜室から取り出した野菜が腐っている
- 冷凍庫の奥から取り出した食品が腐っている
- 野菜室がぐちゃぐちゃ
- 買いすぎ、使い忘れ防止
- お野菜にもやさしい

3つの「すっきり冷蔵庫収納術」で食品のムダをなくしましょう！

1 すっきり収納術 冷蔵庫編

食品の指定席を決めよう！ 食ロス10%減

◆収納のポイント

色々なものを詰め込みがちな冷蔵庫は、食品の指定席を決めよう！かごやラックを使うことで食品の指定席がからいなくなる。

- 1 定番のものは指定席を決める
- 2 フリースペースを確保
- 3 すぐ食べるものはすぐ食べるスペースに

ワンポイントアドバイス

買い物の前には必ず冷蔵庫の在庫チェック＆買い増しを！

■冷蔵庫の在庫管理には「定期チェック」が便利！
-食品の賞味期限・消費期限がわかる
-在庫の把握が簡単、買い増ししやすい

2 すっきり収納術 野菜室編

野菜は立てて収納しよう！ 食ロス10%減

◆収納のポイント

野菜を多く使う、腐れも長持ちさせるには立てて収納がポイント！かごやラックを使うことで野菜の指定席がからいなくなる。

- 1 薄い上段には小さいものや使いかけを
- 2 「立てて収納」で野菜長持ち！
- 3 ケースで仕切って指定席を決める

ワンポイントアドバイス

野菜や果物は洗って保管すればもっと長持ちします！

■きゅうり ■じゃがいも ■お肉

へきを割って風通しの良い状態へ。または新聞紙で覆って、または清潔な容器に入れて保管。

3 すっきり収納術 冷凍庫編

エリア分けで在庫を見える化 食ロス10%減

◆収納のポイント

冷凍庫はエリア分けを立てて収納がポイント！「さくさく」ラックを使うことで冷凍庫の奥まで見やすくなります。

- 1 品目・用途ごとにエリア分け
- 2 「立てて収納」で見やすく取りやすく！
- 3 ぎゅうぎゅう詰めを避け、冷凍効率アップ

ワンポイントアドバイス

すっきり冷凍庫をキープするために月に1回たななおしと整理整頓をしましょう

■食品を全部出して期間をチェック
■品目や使う頻度で種類分け
■定期的な整理整頓ですっきりキープ！

ヤマダホールディングスグループは、今後も、SDGs 目標達成に向けた社会課題を「自分ごと」と捉え、会社として、個人として、できること、やるべきことに真摯に向き合い、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

以上

【発行元】株式会社ヤマダホールディングス 経営企画室 広報課

電話 : 027-345-8947 / FAX : 027-345-8948 / E-mail : ymd_kouhou@yamada-denki.jp

上記記載の情報は、2022年7月4日現在の情報であり、今後予告なしに変更されることもありますので、あらかじめご了承ください。